

令和5年度事業実績について

社会福祉法人 内潟療護園

目次

①	障がい者支援施設 内潟療護園	P2
②	障がい者支援施設 第二うちがた	P10
③	しあわせセンターうるしかわ	P15
④	ケアホームうるしかわ	P18
⑤	ひだまり工房(多機能型施設)	P19
⑥	地域密着型特別養護老人ホーム きりん館	P23
⑦	障がい者福祉ホーム きりん館	P25
⑧	内潟療護園 相談センター	P26
⑨	内潟療護園 デイサービスセンター	P27
⑩	内潟療護園 ホームヘルプセンター	P29
⑪	うちがた工房(多機能型施設)	P30
⑫	中泊町地域包括支援センター	P31

生活支援

1 実施状況

- ① 各職員がスキルアップを図るため、職場外研修（オンライン研修）への参加と、月1回職場内研修として各委員会が講師を務め「勉強会」を開催。また、外部講師を招き研修を実施した。
- ② 医療的ケアの体制を整えるため、青森県で実施している喀痰吸引等研修（第二号研修）に2名の職員を研修に参加。実地研修等による指導のもと、認定特定行為業務従事者としての認定を受けることができた。
- ③ 新型コロナウイルスへの対応は次のとおりであった
 - ・施設外の感染状況を考慮し、家族参加の行事を自粛した
 - ・面会是一部制限を設け、家族の協力を得ながら実施した
 - ・家族には利用者の近況報告書を作成し、日頃の様子を伝えた
 - ・外出は感染対策に配慮した飲食を伴わないものや、施設周辺の散策を実施した
 - ・日常生活に趣向を凝らしたレクリエーションを計画的に取り入れ、皆で楽しめる場所を作った
- ④ BCPに関するマニュアルを作成し、施設内の掲示板において、定期的に豆知識クイズを出題し、啓発活動に取り組み、利用者、職員の意識向上に努めた。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	930	961	915	934	961	930	946	916	907	961	875	954	11,190	932.5	68
入院日数	0	0	15	22	0	0	15	14	30	0	24	7	127	10.6	20
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率	103.3	103.3	101.6	100.4	103.3	103.3	101.7	101.7	97.5	103.3	100.5	102.5		101.8	
生活介護	682	713	680	697	713	682	704	673	682	706	634	713	8,279	689.9	55
稼働率	103.3	103.3	103.0	101.0	103.3	103.3	102.0	101.9	98.8	102.3	100.6	103.3		102.1	
在宅利用	2	3	3	5	3	5	5	3	2	0	0	10	41	3.4	▲43

※ 在宅利用：在宅からの生活介護利用者

② 年齢

性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	0	2	5	6	5	3	1	1	23	56.3
女	0	0	1	3	0	1	2	1	8	62.5
合計	0	2	6	9	5	4	3	2	31	57.9

③ 障害者手帳障害等級

性別	1級	2級	A	B	合計
男性	19	4	0	0	23
女性	5	2	0	1	8
合計	24	6	0	1	31

④ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五ヶ所市	黒石市	つがる市	平川市	中泊町	鶴田町	深浦町	鱒沢町	今別町	蓬田村	合計
男性	2	1	5	1	6	0	3	1	0	2	0	2	23
女性	1	0	1	0	0	1	2	1	1	0	1	0	8
合計	3	1	6	1	6	1	5	2	1	2	1	2	31

⑤ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R2 年度	0	0	0	0	0	0	2	0	2
R3 年度	0	0	0	0	0	0	2	1	3
R4 年度	0	0	0	0	0	0	2	2	4
R5 年度	0	0	0	1	0	0	1	0	2
合計	0	0	0	1	0	0	7	3	11

⑥ 在所期間の状況

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合計
	男性	2	5	2	3	2	
女性	0	2	0	1	1	4	8
合計	2	7	2	4	3	13	31

⑦ 障害支援区分

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
	男性	0	0	0	1	3	
女性	0	0	0	0	1	7	8
合計	0	0	0	1	4	26	31

平均障害支援区分 5.80

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者の短期入所事業及び介護保険法による基準該当短期入所（中泊町）を 8 床の定員で行っている。今年度は延べ 2,427 人の利用で前年比 447 人増であった。新規利用相談 6 名の受入れに対応し、うち緊急的に利用相談のあったケースにも受け入れ対応した。

2 利用状況（延べ日数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者	178	194	189	204	213	219	228	221	246	188	168	179	2,427
高齢者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	178	194	189	204	213	219	228	221	246	188	168	179	2,427
稼働率	74.1	78.2	78.7	82.2	85.8	91.2	91.9	92.0	99.1	75.8	72.4	72.1	82.7

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の中の一つのサービスで、日中障害福祉サービス事業所、障害者支援施設において、障害者等に活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための日常的な訓練等を目的とするものであるが利用はなかった。

2 利用状況

利用実績なし

医務

1 実施状況

- ① 内科嘱託医による年 2 回の定期健診の実施（採血 1 回/年検査含）
- ② 結核検診の実施
- ③ 感染予防対策の実施（ワクチン接種等含）・対策マニュアルの再確認
- ④ 職員の健康診断受診推進および健康管理への助言

2 評価

- ① 新型コロナウイルス感染症に関しての情報収集を行い、感染症 5 類への引き下げに伴い施設における感染症対策の見直し実施した。
- ② 令和 5 年度、入所利用者入院は 8 名。入院延べ日数 157 日。前年度より 29 日増加している。1 名は入院後、数日で容態急変し入院先で亡くなっている。家族の意向により施設で対応することが困難で退所となった方もいた。経過をみていたが急変した状態のため救急要請にて入院することもあった。入院期間が長期化することはなかったが短期間で再入院するかたも数名いた。これからも速やかな治療ができるよう早期発見・早期受診に努め、長期入院の予防に努めたい。
- ③ 高齢化と障がいの重複により病気に対する抵抗力が低下してきている利用者が増えている。病気を発症・再発をすると急速に重症化しやすい傾向にある。そのため、病状特有の症状だけの判断がつかないこともある。全身の状態を観察しながら対応していく。食事や水分の経口摂取が困難になってくる可能性が高くなってきている方も増えているため、その都度対応策を主治医等と連携して検討していく。
- ④ 感染症に関しては、3 月初旬に利用者 1 名、新型コロナウイルス感染症発症するも感染対策の徹底と利用者・職員の健康観察実施、感染拡大することがなかった。その他、職員及び職員の家族内で感染症の発生あるも施設内に持ち込まれることなく予防することができた。今後も感染症が発生しても最小限にとどめるよう努力し、感染症を施設に持ち込まないことと感染拡大の予防を徹底していく。
- ⑤ 職員の健康管理について、健康診断の受診を促し、要再検査項目については助言し体調管理に努めた。体調不良による休養等はあったが当事者の状況把握に努め、適切な助言ができるよう努めた。今後も継続していきたい。

機能回復訓練「理学療法」

実施状況

① 機能回復訓練

隔月で理学療法士、福島真人氏が来園し、診察・指導・助言のもとに、月曜日から金曜日（午前・午後）までは専従の上田法訓練士と補助員、土曜日と日曜日は福祉課職員の協力を得ながら、主に上田法の施行。個別支援計画に沿いながら体調等に留意し実施。参加人数は施設入所者 30 名、ショートステイ利用者 8 名。上田法施行により過緊張を和らげ、関節可動域の拡大、腹部膨張の緩和、各関節拘縮予防効果が見られた

- 福島理学療法士：延べ 17 名

② 補装具・自助具

各補装具の故障や破損、日常生活機能の変化等による補装具の購入・修理申請等の代行。また、自助具に関する相談、助言の実施。主な補装具は車椅子 33 名、下肢装具 3 名の利用者が日常生活で使用している。車椅子・短下肢装具の購入・修理申請等の代行。

- (1) 購入申請：車椅子 1 件
- (2) 修理交付申請：車椅子 9 件
- (3) 定期的座圧測定の施行、車椅子ブレーキ、張調整、パンク等の修理施行

③ 福祉機器及び介護用品

安心、安全な移乗を目的とし、福祉機器（床走行リフト）のメンテナンス等を定期的実施。必要時、業者へ依頼し不備がないよう管理した。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

実施状況

- ① 口腔ケアの習慣づけで誤嚥性肺炎のリスク予防に努めた。
- ② 歯科衛生士の指導のもと、利用者一人ひとりに合わせた口腔ケア用品を準備し、手順書を作成、居室へ貼り職員への周知を図った。
- ③ 多職種と情報を共有し、食事形態やとろみ剤の見直し・調整を行った。
- ④ 発語の促しや手指動作の活動を通して、利用者の自発性向上に努めた。

給食（内湯療護園）

実施状況

- ① **バイキング食**
利用者の嗜好や要望を取り入れたメニュー。年間行事やイベントに合ったメニューで季節を感じられるよう工夫し、バイキング食を楽しんでいただいている。
「実施日」： 隔週木曜日の昼食 「実施回数」： 令和5年度 23回
(うち2回パンバイキング、ミスタードーナツバイキング)
- ② **定食の日**
令和2年11月からバイキングのマンネリ化を解消するため、外食風メニューで楽しんでいただいている。
「実施日」： 隔週木曜日の昼食 「実施回数」： 令和5年度 25回
- ③ **選択食**
2種類のメニューから好きな料理を選んでいただき、利用者を選ぶ楽しみが作り出せるように組み込んでいる。(主食・主菜のみ選択)
「実施日」： 隔週火曜日の夕食 「実施回数」： 令和5年度 24回
- ④ **丼の日**
令和2年11月から選択食のマンネリ化を解消するため、利用者さんから要望の多い丼メニューのバリエーションを増やして提供している。
「実施日」： 隔週火曜日の夕食 「実施回数」： 令和5年度 24回
- ⑤ **麺類の提供**
暑さで食欲が落ちてしまいがちな時期には、麺類を月2回増やして夏バテ、スタミナ不足にならないよう食事面からサポートしている。
「実施日」： 毎週月曜日の昼食
- ⑥ **特別食・治療食**
利用者の摂食状況、健康状態に合わせた食事の提供をしている。目で見ておいしい食事の提供とし、令和2年3月から軟菜食の提供、令和2年5月からソフト食の提供を開始。
「特別食」： ミキサー食、ソフト食、刻み食、軟菜食
「治療食」： 糖尿病食、痛風食、高脂血症食、ダイエット食
塩分を控えた食事の提供。だしのうま味を活かした調理で薄味を心がけて減塩に努めている。
- ⑦ **災害食**
非常事態に備え、食材の備蓄、災害時を想定した「災害食体験日」を設け食事の提供を行い、利用者、職員共に災害に対する意識を高めるように取り組んでいる。
「実施日」： 不定期の昼食 「実施回数」： 令和5年度 1回

- ⑧ **衛生管理**

日常	<ul style="list-style-type: none">・正しい手洗い、手指消毒の徹底・調理従事者の毎日の検温、健康、衛生チェック・衛生手袋、マスクの着用による調理、盛りつけ、検食の保存・冷蔵庫、冷凍庫での温度管理をした食品保存・給食施設内温度、湿度管理をした給食業務・加熱調理時の食品の中心温度管理・食品ごとの、まな板、包丁、ボール、ザル等の用具の分別
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳車、調理台、配膳台、取っ手の除菌 ・調理器具の洗浄、漂白 ・シンク、排水溝、床の清掃
週 間	<ul style="list-style-type: none"> ・検収室、勝手口等の清掃及び食器棚、食品庫の整理整頓 ・冷蔵庫、冷凍庫、換気扇、洗浄機の清掃
月 間	<ul style="list-style-type: none"> ・検便（10月～3月ノロウイルス検査含む） ・ねずみ、虫害の駆除
年 間	<ul style="list-style-type: none"> ・サッシ、網戸の清掃及び大掃除

⑨ 行事食

月日	行事	主な料理
4/20	お花見会 (施設前庭開催)	お花見弁当 ご飯、赤飯、紅鮭、鶏の唐揚げ、エビフライ、だし巻き卵、アスパラ菜辛子と和え、昆布巻き、 筍土佐煮、苺、キウイ
7/6	七夕定食	七夕そうめん、天ぷら、胡瓜と菊の酢の物、胡麻豆腐、ケーキ
7/28	土用の丑	うなぎちらし寿司、胡瓜とカニカマの和え物、卵豆腐、お吸い物、ぶどうゼリー
8/13 ～ 8/15	お盆(夕食)	13日：赤飯、銀鮭西京漬け焼き、野菜の炊き合わせ、ほやの水物、お吸い物、パイナップル 14日：天ぷら(海老、さつまいも、アスパラ)、豚の角煮、胡麻豆腐、お吸い物、メロン 15日：ちらし寿司、茶碗蒸し、なます、しじみ汁、スイカ (13日～15日 ジュース、お酒)
8/31	バーベキュー	おにぎり、牛バラ、牛ハラミ、牛タン、焼き鳥、とうもろこし、カボチャ、アスパラ、 胡瓜辛子漬け、ジュース
9/14	納涼祭 (施設前庭開催)	おにぎり、焼き肉、焼き鳥、フランクフルト、焼きそば、海老塩焼き、ししゃも、しじみ汁、 じゃがバターゆでとうもろこし、チョコバナナ、葡萄、梨、アイスクリーム、ジュース
9/26	秋彼岸	おはぎ、柔らかか団子
9/29	十五夜(お供え)	さつまいも、南瓜、林檎、梨、葡萄、日本酒
11/2	寿司の日定食	握り寿司 5巻(鮪、鯛、海老、サーモン、玉子)天ぷら、ミニ蕎麦、茶碗蒸し、りんごゼリー
11/9	焼き芋会	焼き芋(紅はるか、鳴門金時、シルクスイート)
12/21	クリスマス会	ちらし寿司、骨なしチキン、エビマリネ、ローストビーフ、ポテトグラタン、ピザ、ジュース
12/28	もちつき	大福餅、柔らかか団子
12/31	大晦日	昼食：年越しそば、牛すじ煮込み、オレンジゼリー 夕食：握り寿司(海老、鮪、しめ鯖、ホタテ、サーモン) おせち(伊達巻き、黒豆、昆布巻き、栗きんとん、かまぼこ、いくら) 彩り野菜の煮物、お吸い物
1/1 ～ 1/3	正月	1日：鰻蒲焼、だし巻玉子、人参の子和え、なます、お吸い物 2日：天ぷら(海老、鱈、舞茸)、菊の塩辛、胡麻豆腐、お吸い物 3日：ちらし寿司、茶碗蒸し、ほうれん草カニカマ和え、しじみ汁 (1日～3日 ジュース、お酒)
1/11	鏡開き	お汁粉
2/1	節分定食	ちらし寿司、チキンロール、五目煮豆、鰯つみれ汁、コーヒーゼリー
2/29	ひな祭定食	ちらし寿司、豚の角煮、にんじんの子と和え、お吸い物、手作りプリン
3/8	災害食体験日	中華丼、筍土佐煮、ゼリー、味噌汁
3/20	春彼岸	桜餅、柔らかか団子、桜餅風ゼリー

宮繕（内潟療護園）

実施状況

種類	作業内容	件数
修繕	施設内外の不具合修繕：建具、手すり、外壁、調理器具、コールボタン、電気、トイレ、水回り、エアコン、換気扇、車両ほか	114 件ほか
整備	施設内外整備：草刈り、花壇整備、剪定、外壁洗浄、コールボタン無線化工事、TV 台製作、換気部材洗浄、排煙窓ほか	58 件ほか
活動	教養娯楽活動：模型展示	2 件
	防災啓発活動：防災講習会講師（集落支援事業）	

行事・外出・レクリエーション

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	1日	こいのぼり完成園内に飾る	4名		3名
	3日	施設内周辺散歩・写真撮影	11名		4名
	4日	施設内周辺散歩・写真撮影	3名		3名
	4日	利用者懇談会	3名		3名
	11日	施設内周辺散歩	6名		2名
	11日	パチンコ	8名		1名
	12日	ボウリング	4名		2名
	16日	施設内周辺散歩	6名		5名
	17日	ボウリング・パズル	6名		3名
	18日	中庭散歩・将棋	4名		2名
	20日	花見会（施設駐車場）	31名		27名
	22日	芦野公園桜の上映会	14名		2名
	22日	ボウリング	6名		4名
	23日	手作りこいのぼり作成	6名		2名
	24日	トランプ	5名		3名
	25日	書道クラブ	13名		1名
	25日	施設内周辺散歩	3名		3名
	25日	ドライブ外出（金木芦野公園）	5名		4名
	26日	兜と一緒に記念撮影・こいのぼり色塗り	12名		1名
	27日	こいのぼり色塗り	8名		2名
30日	チョークアート	5名		1名	
31日	パチンコ	7名		1名	
5月	1日	ドライブ外出（ピュアにこいのぼり見学）	4名		2名
	10日	買い物外出（エルム店）	5名		6名
	10日	利用者懇談会	19名		17名
	11日	買い物外出（エルム店）	2名		2名
	18日	買い物外出（エルム店）	2名		2名
	29日	買い物外出（イオンモール柏）	2名		2名
6月	7日	利用者懇談会	20名		12名
	15日	買い物外出（イオンモール柏）	3名		3名
	17日	パチンコ	7名		1名
	20日	施設内周辺散歩	4名		3名
	22日	内湯喫茶（ミスタードーナツ）	21名		6名
7月	4日	利用者懇談会	12名		16名
	13日	パチンコ	6名		1名
	17日	パチンコ・ゴミ拾い（施設内周辺）	9名		4名
	25日	パチンコ	7名		1名
	26日	カランカランアイス・将棋	24名		10名
8月	1日	パズル	4名		2名
	5日	将棋	1名		1名
	6日	将棋	1名		1名
	7日	将棋	1名		1名
	8日	利用者懇談会	15名		12名
	9日	スイカ割り大会	22名		17名
	9日	将棋・オセロ	2名		2名
	12日	買い物外出（マクドナルド）	1名		1名
	12日	みちのくプロレス弘前大会	1名		1名
	17日	パチンコ	6名		1名
9月	5日	獄きみをたべよう（皮むき）	31名		8名
	5日	利用者懇談会	17名		20名
	14日	納涼祭	27名		34名

	20日	パチンコ	6名		1名
	25日	将棋	1名		1名
	26日	パチンコ	8名		1名
10月	4日	パチンコ	5名		1名
	4日	利用者懇談会	22名		19名
	5日	動物ふれあい交流会	22名		15名
	12日	買い物外出（イオンモール柏）	1名		2名
	18日	買い物外出（イオンモール柏）	7名		5名
	19日	パチンコ	7名		1名
	25日	ボウリング	4名		1名
	30日	買い物外出（スーパーストア）	2名		2名
	31日	ハロウィーン会・手工芸	34名		9名
11月	7日	利用者懇談会	16名		20名
	8日	編み物・将棋	7名		4名
	9日	焼き芋会	26名		12名
12月	5日	パチンコ	6名		1名
	5日	利用者懇談会	13名		12名
	21日	クリスマス会	36名		25名
	28日	もちつき会	36名		21名
1月	8日	書初め会	15名		5名
	10日	利用者懇談会	17名		16名
	16日	パチンコ	5名		1名
2月	1日	豆まき会	27名		10名
	1日	節分	27名		10名
	6日	利用者懇談会	17名		15名
	10日	パチンコ	6名		1名
	14日	パチンコ	6名		1名
	16日	魚釣りゲーム	5名		5名
	16日	ゆらカフェ（湯らば〜く）	1名		1名
	17日	パチンコ	5名		1名
	19日	カラオケ	11名		4名
	22日	カラオケ	8名		3名
	24日	パチンコ	5名		1名
27日	トランプ	3名		2名	
3月	1日	魚釣りゲーム	7名		4名
	1日	ひな祭り	21名		6名
	5日	魚釣りゲーム	5名		5名
	5日	利用者懇談会	16名		17名
	6日	カラオケ	6名		4名
	7日	パチンコ	4名		1名
	12日	パチンコ	6名		1名
	20日	パチンコ	7名		1名
	21日	内湯喫茶（ホットケーキ）	27名		11名
	29日	工作	7名		2名

※ その他にホールや玄関に季節の飾りつけ、昼食メニューボード作成、トランプ、花札、麻雀、魚釣り、パチンコ等行っています

第二うちがた 福祉課

生活支援

1 実施状況

- ① コロナ感染症に関しては、8月に生活介護利用者から発生し、職員や入所や、別の生活介護利用者など計11名が感染した。コロナクラスター（集団感染）として県へ事故報告する事態になった。発生直後より、ゾーニング等の感染症マニュアルに沿った対策施行・通所事業を停止した。在宅からの通所利用者・家族の介護負担が増える状況にありながらも、利用者・家族の理解、協力のもとで感染症を収束することができた。その後は、医療的ケアを必要とする生活介護利用者（通所）が、安心して過ごせるようショートステイ等の空き部屋を活用し、感染症予防対策を強化しながらサービス提供を継続した。
- ② 加齢による機能低下や疾病の重症化による入院が続き、そのまま退所に至ったケース例があり、そのため空床が続いた月があった。病変への早期対応や空床続かないように、地域ニーズ把握し、相談支援事業所との連携と共に、情報収集・情報提供に努めた。
- ③ 職員のスキルアップを図る為、積極的に派遣研修へ参加した。また、オンラインでの研修や外部講師を依頼した施設内の勉強会などを実施した。
- ④ 利用者からのニーズが高い医療的ケアの体制を整えるため、青森県で実施している喀痰吸引等研修に2名（第二号研修）、認定特定行為業務従事者として認定を受けることができた。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	930	961	908	914	891	910	920	900	913	958	899	961	11,065	922	▲209
入院日数	0	0	22	47	70	20	41	16	17	3	0	0	236	19.6	195
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率	103.3	103.3	100.9	98.3	95.8	101.1	98.9	100.0	98.2	103.0	103.3	103.3		100.3	
生活介護	625	667	626	635	622	634	647	617	634	669	607	667	7,650	635.6	▲167
（在宅）	130	138	107	112	84	84	129	116	122	115	118	124	1,376	114.6	▲185
稼働率	114.4	116.7	111.1	108.3	102.3	108.8	112.5	110.6	109.6	113.6	115.1	114.6		111.5	

※定員30名 ※（在宅）：在宅からの生活介護利用者

② 年齢

年齢 性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	3	3	3	1	9	1	2	1	21	55.8
女	0	0	0	3	2	0	2	1	8	63.4
合計	3	3	3	4	11	1	4	2	31	58.2

③ 身体障害者手帳障害等級

年齢 性別	1級	2級	3級	合計
男性	20	1	1	22
女性	6	2	0	8
合計	26	3	1	30

④ 知的障害者手帳障害等級

年齢 性別	A	B	C	合計
男性	0	1	0	1
女性	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

※③④を合わせた合計 31 名

⑤ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	つがる市	鶴田町	深浦町	板柳町	鱒ヶ沢町	外ヶ浜町	藤崎町	合計
男性	1	1	6	6	1	1	1	4	1	1	23
女性	1	0	3	1	2	0	0	1	0	0	8
合計	2	1	9	7	3	1	1	5	1	1	31

⑥ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R3 年度	0	0	0	1	1	0	0	1	3
R4 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R5 年度	0	0	0	1	1	0	0	1	3
合計	0	0	0	2	2	0	0	2	6

⑦ 在所期間の状況

性別 期間	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合計
	男性	3	2	1	5	5	
女性	0	1	0	2	2	3	8
合計	3	3	1	7	7	10	31

⑧ 障害支援区分

性別 区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
	男性	0	0	0	1	0	
女性	0	0	0	0	1	7	8
合計	0	0	0	1	1	28	31

平均障害支援区分 5.9

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者・障害児の短期入所事業を 8 床の定員で行ってきた。本年度は新規 15 名の方を受け入れ、延べ 1,89 人の利用があった。前年比 77 人減である。

- 施設等への入所希望にて、長期利用が 4 名、在宅で他のサービス（生活介護）と組み合わせ利用されている方が 9 名いた。さらに久しぶりの利用希望の方も 1 名おられた。定期的に利用していた 7 名のうち 6 名は現在も利用継続されている。
- 長期・定期的な利用者の大半が、日中活動として施設の生活介護やひだまり工房や他事業所へ通い余暇を過ごし、その人らしい生活を送っている。
- 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、一時的に受入れを休止せざるを得ない状況がありながらも、感染症予防対策を講じ利用者・家族の理解、協力のもと安心・安全なサービス提供を行った。

2 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	172	172	173	175	170	98	146	143	141	155	163	140	1,848
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	172	172	173	175	170	98	146	143	141	155	163	140	1,848
平均	5.7	5.5	5.7	5.6	5.4	3.2	4.7	4.7	4.5	5.0	5.6	4.5	5.0
稼働率	71.7	69.4	72.1	70.6	68.5	40.8	58.9	59.6	56.9	62.5	70.3	56.5	63.1
うち生活介護等利用	31	17	31	30	26	21	32	27	29	32	35	38	349

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業「日中一時支援」におけるサービスを提供している（五所川原市・つがる市・鶴田町）が、令和5年度は利用がなかった。

医 務

1 実施状況

- ① 年2回の基本健診、利用者全員の結核検診
- ② 感染予防対策の実施・指導・研修
- ③ 喀痰吸引の実地研修
- ④ 職員の健康管理についてアドバイス、指導、記録
- ⑤ 利用者・職員のコロナワクチン、インフルエンザワクチンの接種

2 評価

- ① 入院の延べ日数は、前年度より、195日増となった。一部は、短期入院治療と病院側の判断であったが、実際には長期となったことも原因している。
- ② 喀痰吸引等制度に基づき実地研修を行い、第二うちがた職員2名が取得した。今後も医療的ケア（痰吸引）の取組みに努め継続していく。
- ③ コロナ感染症に関して、生活介護利用者から発生し、職員や入所者、別の生活介護利用者など、計11名となりクラスターとなってしまった。マニュアル通りの対応、嘱託医との連携をすぐ実施したが、やはり夜勤帯での少人数で業務が増える中で感染が広まる様子があった。忙しい中でもマニュアル通りの徹底を強く意識づけしていかなければならないことが反省点である。
幸いにも重症化し入院する利用者もなかったため、そこは嘱託医との連携がうまくとれて、早期治療ができたと思う。

機能回復訓練「理学療法」

① 機能回復訓練

一人ひとりの障がいや要望、体調に応じて気軽に参加できる訓練を心がけ、日常生活動作訓練、運動療法を継続的に行っている。隔月で理学療法士福島真人先生による指導、助言をもとに、上田法を主体として自動運動や他動運動、可動域訓練、起立装置を用いた起立訓練、ポジショニングなどを各部署の協力を得ながら実施。訓練参加者は26名（施設入所者21名、ショートステイ1名、通所4名）で過緊張や痙縮の緩和や維持効果がみられ、関節可動域の減少予防等にも効果がありました。

② 補装具・自助具

補装具の故障や破損、身体機能の変化により補装具の交付申請・修理申請を代行し、補装具に関する相談や助言を実施。主要な補装具は車椅子（電動式を含む）で、現在39名の利用者が日常生活で使用している。主に新規車椅子の製作、座布、シートの交換、修理等である。

- (1) 交付申請（再交付含む） 車椅子 1件 下肢装具 1件
- (2) 修理申請 車椅子 5件 下肢装具 1件
- (3) その他 申請以外にも小さな修理や利用者にあった自助具の購入等支援・助言も行っている。

③ 福祉機器及び介護用品

- (1) 安心・安全な介護と業務の省力化を目的とし、利用者が快適な生活を送ることができるよう介護用品の選定や工夫を行った。
- (2) 福祉機器の定期点検・修理（ベッド、床走行リフト、コールボタン等）を随時行った。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

- ① 嚥下訓練の一環として口腔ケアを積極的に行い、誤嚥性肺炎の予防に努めた。
- ② 歯科衛生士の始動のもと一人ひとりに合わせた物品を準備し、介護部と情報を共有、口腔ケア手順書の作成と周知を図った。
- ③ 口腔ケア委員会と協力し、物品の注文や口腔ケアに対する問題解決に努めた。
- ④ 多職種の意見や情報をもとに、食事形態やトロミ剤の見直しなど調整を行った。

給食（第二うちがた）

実施状況

利用者の声を聞き、毎日が楽しみになるような手作りで愛情のこもった食事作りを心がけている。

① 軟菜食の実施

介護・医務・給食の連携により、一人ひとりの栄養状態・身体状態・本人の食欲などを検討し、軟菜食を提供することができた。

② 療養食の実施

健康状態に合った食事提供が、健康管理に係ることができた。

□ 療養食の種類と人数（入所支援）

種類	糖尿食	脂質異常食	その他	合計
人数	6名	1名	0名	7名

③ バイキング食

利用者の様々な嗜好を給食部全員で把握し、全体メニューにできないどんな小さな要望であっても、その結果をできるだけ早く献立に取り入れるように対応した。

「実施日」： 毎週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和5年度 42回

④ 選択食

2種類の献立の中から好きな料理を選んでいただき、食事に変化を持たせるとともに、選ぶ楽しみを作り出すように取り込んでいる。（主食・主菜のみ）

「実施日」： 毎週火曜日の昼食

「実施回数」： 令和5年度 50回

⑤ 麺類

利用者から「麺類をもっと食べたい」という要望を聞いて取り組んでいる。

「実施日」： 毎週水曜日の昼食

「実施回数」： 令和5年度 47回

⑥ ひだまり工房の食事（昼食）

職員を通して、利用者の要望と嗜好の把握に努めている。さらにより良い食事の提供に心掛けている。

■ 実施日：月曜日～土曜日 ■ 料理：一汁三菜、 ■ 麺類：毎週水曜日

■ 特別食・治療食：利用者の摂取状況に合った食事提供（お粥食・代替食・治療食）

■ 行事食：旬の食材を提供

お盆：うなぎ・じゅんさい・かぼちゃ小倉煮・天ぷら・豚肉マリネ・昆布巻き・しじみ汁

夏祭り：おにぎり・キムチ鍋・焼きうどん・鶏のから揚げ・やきとり

十五夜：鉄火丼・茶碗蒸し・金時豆

クリスマス：スペアリブ・ウインナー・グラタン・鶏から揚げ

ポテトサラダ・ナポリタン・ハンバーグ・ピザ

ひな祭り：ちらし寿司・菜の花からし和え・ケーキ

⑦ 行事食

□ 令和5年度の行事食

月日	行事	主な料理
4/13	春の昼食会	馬肉の煮込み、エビフライ、ほたての照り焼き、うどんの酢味噌、細竹豚肉炒め、豚肉アスパラ巻 冷やしそば、タラの天ぷら、桜餅
7/6	七夕	七夕カレー、ケーキ
8/13～15	お盆	茶碗蒸し、じゅんさい、天ぷら、牛カルビ、昆布巻き、角煮、エビフライ、メロン、しじみ汁
9/14	夏祭り	カツオたたき、茶碗蒸し、揚げだし豆腐
9/29	十五夜	焼き鳥、焼きそば、ほたて、エビ、おにぎり
11/2	お寿司の日	お寿司、茶碗蒸し、しじみ汁
12/21	クリスマス会	ピザ、お寿司、サラダ、牛ステーキ、ローストビーフ、刺身、グラタン、エビフライ、コーンスープ
12/31	大晦日	おしるこ、きなこ
1/1	お正月	鉄火丼、煮しめ、茶碗蒸し、うなぎ
1/2		ローストビーフ、かまぼこ、だてまき

1/3		うなぎ、茶碗蒸し、なます
3/2	ひな祭り	ちらし寿司、菜の花のからし和え、ケーキ

⑧ 衛生管理

日 常	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生手袋、盛りつけ、検食の保存 ・冷凍庫、冷蔵庫の温度管理 ・給食施設内温度、湿度管理 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・調理従事者の毎日の健康、衛生チェック ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール等の用具の分別 ・洗浄・漂白 ・調理台、配膳台、シンク、床の掃除 ・取っ手の除菌
週 間	<ul style="list-style-type: none"> ・調理機器、側溝、検収室、勝手口等の掃除 ・食器棚、食品庫の整頓
月 間	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫、冷蔵庫の清掃 ・検便
年 間	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除（2回） ・サッシ、網戸の掃除 ・ねずみ、昆虫の駆除

実施状況

社会福祉法人内潟療護園の理念のもと、人との「つながり」を大切にしながら、地域に身近な「福祉よろず相談所」として総合相談支援を実施した。地域住民から電話にて福祉サービスの利用に関する相談があり、情報提供などの対応を行った。新型コロナウイルスが「5類感染症」へ移行となったが、地域へ向けた取り組みはホームページでの周知のみで、関係機関と連携した「地域づくり」は十分に実施できなかった。

相談支援事業（指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業）

1 実施状況

① **指定一般相談支援事業**

地域生活支援事業における障害者相談支援事業を五所川原市、つがる市、中泊町より事業を委託し、実施した。利用者や家族に対する福祉制度の説明やサービス利用に関する相談受付など、ニーズに応じて支援を行った。昨年度も、地域移行支援および地域定着支援の新規対象者はなかったが、地域移行を進める保健所の会議に出席し、西北五圏域での取り組みには積極的に協力している。

② **指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業**

西北五管内の2市4町（五所川原市、つがる市、中泊町、鶴田町、鱒ヶ沢町、深浦町）のほか、管外市町の利用者に対し、今年度も主任相談支援専門員を中心に相談支援専門員3名体制（1名は兼務）でサービス等利用計画の新規作成や変更、対面での定期的なモニタリングを実施した。新規の計画作成に対しては、他の相談支援事業所からの移行ケースも含め、可能な限り対応した。行政や教育機関と連携をはかった支援会議を開催し、統一した支援につなげることができた。令和5年度は、228名（うち障害児は26名。年度内の終了件数を含む）の支援を行った。

③ **その他**

今年度も、つがる市及び五所川原市より障害支援区分認定調査を受託して実施した。また所属しているつがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会や研修会へ参加し、質の向上につとめた。その他、医療的ケア児等コーディネーターとして保健所と連携をはかった支援や圏域内の市町および主任相談支援専門員と連携し、相談支援従事者現認研修のインターバル実習の対応を行い、地域の相談体制の質の向上にも協力した。BCP（業務継続計画）や要援護者名簿を活用した訓練は実施できなかった。

2 利用状況

① **相談方法（サービス等計画作成に伴う相談を含む）**

	訪 問	来 所	電話（メール含）	その他	合 計
五 所 川 原 市	262	5	216	9	492
つ が る 市	225	7	128	8	368
中 泊 町	131	1	166	27	325
鶴 田 町	33	0	10	1	44
鱒 ヶ 沢 町	36	0	13	0	49
深 浦 町	14	0	3	1	18
そ の 他	41	0	11	1	53
件 数	742	13	547	47	1,349

② 相談者区分別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	本人	家族	関係機関	その他	合計
五所川原市	259	142	82	9	492
つがる市	225	56	74	13	368
中泊町	244	18	29	34	325
鶴田町	40	2	0	2	44
鱒ヶ沢町	46	2	1	0	49
深浦町	15	0	0	3	18
その他	49	0	0	4	53
件数	1,190	36	42	81	1,349

③ 相談内容別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	障害福祉サービスの利用について	障害や病状の理解について	健康・医療について	その他	合計
五所川原市	444	13	7	28	492
つがる市	352	1	5	10	368
中泊町	244	18	29	34	325
鶴田町	40	2	0	2	44
鱒ヶ沢町	46	2	1	0	49
深浦町	15	0	0	3	18
その他	49	0	0	4	53
件数	1,190	36	42	81	1,349

④ サービス等計画作成件数（新規契約済件数）

	五所川原市	つがる市	鶴田町	中泊町	その他	合計
障がい者	3	2	1	3	2	11
障がい児	2	0	0	1	0	3

⑤ 障害者支援区分認定調査実施状況

		視覚障害	内部障害	脳性麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	頸髄損傷	筋ジストロフィー	知的障害	精神障害	その他	合計	
つがる市	男	1	0	0	7	0	3	2	1	1	7	21	37
	女	2	1	1	6	1	0	0	1	0	4	16	
五所川原市	男	2	2	4	5	1	0	0	1	2	1	18	28
	女	1	0	2	2	0	1	0	2	1	1	10	

地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』

1 実施状況

地域の中で気軽に利用できる「みんなのひろば」として運営している。令和 5 年度は新型コロナウイルスが「5 類感染症」へ移行となっているが、感染予防対策により外部への貸し出しは引き続き自粛している。周知活動についても、法人ホームページへの掲載のみとなっている。

2 利用状況

令和 5 年度は法人内の会議や研修に対する貸し出しのみとなっており、外部への貸し出しは実施していないため、実績はない。

ケアホームうるしかわ

1 実施状況

- ① ひだまり工房と連携して自己決定を尊重しながら、日常生活全般において安心・安全・快適に日々の生活を送れるよう支援。
- ② 第二うちがたのバックアップのもと、利用者の健康管理や感染予防に努め、今年度も利用者への感染なく過ごすことができた。また、疾病時や定期受診時の通院の支援を実施。疾病や怪我などでの緊急の受診対応が増えてきている。
- ③ 洗濯・掃除等、日常生活における家事については、利用者個々の状態に合わせ、自分でできる事とできない事を見極めながら支援の見直しを行っている。
- ④ 利用者が安心・安全に生活できるよう、補装具の故障や破損、また必要に応じて各補装具の交付に伴う交付申請や修理申請の代行なども実施。
- ⑤ 買い物外出ができなかったため、イベント時の食事に変化を付けるなどの工夫をして楽しんでいただいた。
- ⑥ 職員のスキルアップを図るための研修参加や、感染症予防対策強化のためにノ口対応時の勉強会を実施。

2 利用状況

① 年齢

年齢 性別	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	平均
男性	0	0	0	1	3	1	5	64.6
女性	0	0	0	3	1	1	5	63.2
合計	0	0	0	4	4	2	10	63.9

② 障害支援区分

区分 性別	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
男性	0	1	0	3	1	4.8
女性	0	0	0	3	2	5.4
合計	0	1	0	6	3	5.1

③ 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用人数	300	310	270	279	279	270	279	270	310	310	290	310	3,477	41
稼働率%	100	100	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	100	100	100	100	95.0	

ひだまり工房

1 実施状況

- ① 喫茶店「ひだまり」では、かき氷・ドリップコーヒー・パフェ等一人一人が参加し、手作りの楽しさと美味しさを味わい喜ばれている。また、所内でのイベントごとを増やした為、利用者・職員が一緒になって楽しむことが出来た。
- ② 買い物外出については感染対策を講じながら実施できた。個別の買い物外出はここ数年コロナ禍で実施できていなかったが久しぶりの外出ということもあり、ストレス解消にも繋がり大変喜ばれた。また、冬期間は希望に応じて買い物の支援もおこなった。
- ③ 初めてバイキング（屋台風）を実施し、大変喜ばれていた。
- ④ 初めての試みで、青森県美術館で開催された、「ありのままの表現展」へ4名の利用者が作品を出展し、見学のための外出も行うことが出来た。
- ⑤ 職員のスキルアップを図る為、各種研修会（オンライン研修含む）への参加の機会を増やし、積極的に参加した。

2 利用状況

① 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	訓練	合計
男性	0	1	2	0	3	4	1	11
女性	0	0	2	0	4	3	0	9
合計	0	1	4	0	7	7	1	20

② 年齢別状況

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0	0	2	1	2	5	1	11
女性	0	0	0	1	3	4	1	9
合計	0	0	2	2	5	9	2	20

③ 利用状況

	延べ利用者数			稼働日数	1日平均利用者数
	生活介護	自立訓練	合計		
4月	335	13	348	25日	13.9
5月	310	12	322	26日	12.3
6月	314	13	327	26日	12.5
7月	325	12	337	26日	12.9
8月	320	14	334	27日	12.3
9月	303	12	315	26日	12.1
10月	303	13	316	26日	12.1
11月	295	12	307	26日	11.8
12月	334	13	347	26日	13.3
1月	309	12	321	24日	13.3
2月	313	13	326	25日	13.0
3月	327	13	340	26日	13.0
合計	3,788	152	3,940	309日	
月間平均	315	13	328	26日	12.6

行事・外出・レクリエーション

① 第二うちがた

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	1日	カラオケの日	9名		2名
	4日	花札の会	3名		1名
	8日	書道クラブ	7名		1名
	11日	カラオケの日	9名		1名
	13日	お花見会	30名		24名
	13日	麻雀クラブ	4名		1名
	15日	町内会側溝掃除	4名		2名
	15日	ドライブ外出	4名		4名
	18日	ドライブ外出	5名		4名
	20日	出前の日	20名		1名
	22日	紙芝居読み聞かせ	11名		1名
	25日	ドライブ外出	4名		4名
	27日	麻雀クラブ	4名		1名
29日	ドライブ外出	2名		2名	
5月	2日	買い物外出	4名		5名
	4日	麻雀クラブ	11名		1名
	6日	書道クラブ	7名		1名
	9日	コンビニ外出	2名		1名
	11日	麻雀クラブ	4名		1名
	13日	カラオケクラブ	9名		1名
	16日	コンビニ外出	2名		2名
	23日	コンビニ外出	4名		2名
	27日	紙芝居読み聞かせ	7名		5名
30日	コンビニ外出	2名		1名	
6月	1日	麻雀クラブ	4名		1名
	3日	カラオケの日	7名		2名
	6日	買い物外出	2名		1名
	10日	書道クラブ	7名		1名
	15日	避難訓練	28名		8名
	17日	買い物外出	1名		1名
	17日	花札の会	3名		1名
	20日	懇談会	20名		10名
	20日	喫茶「もどき」	16名		1名
	22日	出前の日	19名		1名
	24日	紙芝居読み聞かせ	9名		2名
27日	買い物外出	2名		7名	
29日	新型コロナウイルスワクチン接種	24名	在宅4名 ひだまり・ケア ホーム8名	14名	
7月	1日	ゲーム大会「玉入れ競争」	7名		1名
	4日	ドライブ外出	2名		2名
	6日	利用者の会「BBQ大会」	28名		10名
	6日	新型コロナウイルスワクチン接種	3名	在宅5名	20名
	8日	書道クラブ	7名		1名
	11日	救急救命講習（五所川原市消防署）			9名
	13日	麻雀クラブ	4名		1名
	15日	カラオケの日	7名		1名
	22日	紙芝居読み聞かせ	8名		1名
	25日	救急救命講習（五所川原市消防署）			8名
	27日	お楽しみ食事会「出前の日」	18名		1名
29日	ドライブ外出	4名		2名	
8月	1日	懇談会	17名		7名
	1日	喫茶「もどき」	15名		1名
	3日	麻雀クラブ	4名		1名
	10日	麻雀クラブ	4名		1名

	19日	カラオケの日	7名		1名
9月	7日	麻雀クラブ	4名		2名
	7日	軽作業活動の日	4名		1名
	12日	カラオケの日	6名		1名
	14日	Mini 納涼祭「射的や輪投げゲーム大会」とBBQ大会	23名		12名
	19日	買い物外出	2名		1名
	20日	麻雀クラブ	4名		1名
	21日	お楽しみ食事会「出前の日」	21名		
	23日	紙芝居読み聞かせ	9名		1名
	26日	BCP 想定避難訓練	30名		10名
	28日	麻雀クラブ	3名		3名
	28日	軽作業活動の日	2名		1名
	29日	ドライブ外出	4名		1名
	30日	カラオケの日	7名		1名
10月	3日	利用者懇談会・喫茶「もどき」	18名	実習生2名	7名
	5日	麻雀クラブ	4名		1名
	7日	書道クラブ	7名	実習生2名	1名
	7日	ドライブ外出	4名	実習生2名	4名
	10日	ドライブ外出	2名	実習生2名	2名
	12日	麻雀クラブ	4名		1名
	15日	カラオケの日・紙芝居読み聞かせ	8名	実習生2名	1名
	19日	麻雀クラブ	4名		1名
	21日	「ハロウィーン DE お菓子たべよう」	18名	実習生2名	3名
	24日	コンビニ外出	2名	実習生2名	2名
31日	避難訓練	18名	実習生2名	6名	
11月	2日	麻雀クラブ	4名		1名
	2日	軽作業活動の日	3名		1名
	4日	カラオケの日	7名		1名
	7日	コンビニ外出	4名		4名
	8日	コンビニ外出	2名		2名
	9日	麻雀クラブ	4名		1名
	11日	利用者の会主催「焼き芋食べようの日」	12名		5名
	14日	コロナワクチン接種	30名	在宅3名 ひだまり・ケア ホーム13名	17名
	16日	出前の日	21名		1名
	18日	カラオケの日	20名		5名
	18日	喫茶「もどき」	21名		1名
	21日	買い物外出	2名		2名
	23日	麻雀クラブ	4名		1名
25日	紙芝居読み聞かせの日	8名		1名	
30日	コロナワクチン接種		在利用者4名	21名	
12月	2日	ゲーム大会	6名		2名
	5日	懇談会	20名		12名
	5日	喫茶「もどき」	18名		1名
	7日	麻雀クラブ	4名		1名
	7日	軽作業活動の日	2名		1名
	9日	書道クラブ	7名		1名
	16日	カラオケの日	5名		1名
	21日	2023「クリスマス会」	32名		14名
	28日	餅を食べる日（内湯療護園へ餅つき見学）	2名		2名
1月	4日	麻雀クラブ	4名		1名
	6日	新春すごろく大会	13名		2名
	13日	書道クラブ	6名		1名
	18日	麻雀クラブ	4名		1名
	20日	紙芝居読み聞かせ	5名		1名
	25日	出前の日	22名		1名
	27日	カラオケの日	6名		1名

2月	1日	麻雀クラブ	4名		1名
	3日	豆まき会	19名		3名
	6日	懇談会	23名		14名
	6日	喫茶「もどき」	15名		1名
	9日	麻雀クラブ	4名		1名
	10日	書道クラブ	12名		1名
	15日	麻雀クラブ	4名		1名
	15日	軽作業活動の日	3名		1名
	17日	手作りおやつ食べようの日	12名		2名
	22日	お楽しみ食事会「出前の日」	18名		8名
	25日	紙芝居読み聞かせ	9名		1名
	27日	カラオケの日	9名		1名
	29日	麻雀クラブ	4名		1名
3月	2日	お雛祭り&カラオケの日	18名	実習生1名	4名
	5日	花札の会	3名	実習生1名	1名
	5日	喫茶「もどき」	15名		1名
	7日	麻雀クラブ	4名		1名
	7日	軽作業活動の日	3名	実習生1名	1名
	9日	書道クラブ	8名		1名
	16日	ゲーム大会	6名		2名
	23日	紙芝居読み聞かせ	6名		1名
	28日	「出前の日」	22名		1名
	28日	麻雀クラブ	4名		1名
28日	軽作業活動の日	3名		1名	

② ひだまり工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月		屋台風バイキング	14名		10名
6月		買い物外出	8名		8名
7月		買い物外出	11名		11名
		パフェ作り	13名		8名
8月		ひだまり夏祭り	13名		11名
10月		買い物外出	12名		10名
		ハロウィンパーティー	12名		10名
11月		買い物外出	12名		10名
		焼き芋会	12名		12名
		ありのまま表現展出展及び見学	4名		4名
12月		クリスマス会	18名		9名
2月		節分	14名		9名
		バレンタインイベント	11名		9名
3月		ホワイトデーイベント	12名		7名

③ ケアホーム

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	17日	花見ドライブ外出	2名		1名
	18日	花見ドライブ外出	1名		1名
	19日	花見ドライブ外出	1名		1名
	21日	花見ドライブ外出	2名		2名
5月	5日	花の寄せ植え	1名		1名
	6日	花の寄せ植え	2名		1名
	7日	花の寄せ植え	2名		1名
6月	15日	避難訓練	9名		6名
	25日	出張販売	8名		3名
7月	3日	BBQ	9名		5名
10月	12日	BBQ	9名		5名
	31日	避難訓練	10名		4名
12月	23日	クリスマス会	10名		5名

地域密着型特別養護老人ホーム きりん館

特別養護老人ホーム きりん館

1 実施状況

① 地域との関わり

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行し、前年度まで交流が自粛されていた薄市小学校の運動会、学習発表会、卒業式来賓と交流が再開され、利用者、職員が参加している。

② 感染予防対策

国の指導によるワクチン接種の実施を進め、利用者からインフルエンザやノロウイルスなどの感染症発症はなかった。

通年を通して新型コロナウイルス感染予防対応に力を注いだ。利用者、ご家族の協力により面会、行事等の一部制限を実施していたが、お盆以降制限を緩和した形での面会を再開している。

③ 余暇活動

新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら、毎月のお食事会、カラオケ大会、昔懐かしき遊び、園芸活動など充実した活動を行うことができた。

2 利用状況

① 介護老人福祉施設入所者生活介護（定員 29 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	870	896	858	899	899	870	899	854	896	884	841	895	10,561	88.2
入院日数	0	3	12	0	0	0	0	10	3	0	0	4	32	2.7
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率 (%)	100	99.7	98.6	100	100	100	100	98.2	99.7	98.3	100	99.6		99.5

② 年齢

年齢 性別	65～69	70～74	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均
男性	1	0	2	3	1	0	0	7	84.0
女性	0	2	3	5	4	8	0	22	89.9
合計	1	2	5	8	5	8	0	29	88.4

③ 要介護度

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	0	5	2	7
女性	0	0	12	7	3	22
合計	0	0	12	12	10	29

④ 退所区分

	死亡	入院	その他	合計
令和 4 年度	5	1	0	6
令和 5 年度	4	0	0	4

きりん館 短期入所

1 実施状況

介護保険法による特別養護老人ホーム併設型ユニット型短期入所事業を行い、専用居室 6 室を整備している。中泊町、五所川原市、つがる市在住の方々が、延べ 100 人、1,401 日の利用がありました。

2 利用状況

① 短期入所生活介護、予防短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	124	127	167	121	116	109	101	116	96	115	143	150	1,485	123.7
延べ利用者数	7	12	11	9	7	8	9	8	7	8	7	7	100	8.3
稼働率 (%)	68.8	68.2	92.7	65.0	62.3	60.5	54.3	64.4	51.6	61.8	82.1	80.6		67.6

※ 介護保険の場合、要介護認定の期間が6ヵ月から最長36ヵ月まで認められており、利用期間中に要介護度が変更となり、要介護度を2つ以上持っている方がおります。

きりん館 医務

1 実施状況

- ① 感染予防対策の実施・指導
- ② 結核検診の実施
- ③ 職員の健康管理についてのアドバイス・指導
- ④ 看取り介護の実施

2 評価

- ① 日々の健康管理や適切な受診を実施することにより、長期の入院者を減少させることができた。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策として予防マニュアルの作成、勉強会・会議等の開催、職員へは「持ち込まない」ための指導や管理を行った。
- ③ 看取り介護への移行者は現在6名。今後も家族・医師・介護・給食と連携しながら穏やかな終末期を過ごせるよう支援した。

障害者福祉ホーム きりん館

1. 実施状況

今年度は入・退去がないものの、入院、短期入所サービスを利用した方が2名いた。

ホームヘルプサービスやうちがた工房の生活介護・機能訓練サービスを利用して、利用者一人ひとりの自己決定による生活を保障し、地域で自立した生活を送れるよう支援した。

2. 利用状況

年齢 性別	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	平均
男性	0	0	3	7	0	10	61.9
女性	0	0	0	1	0	1	65.0
合計	0	0	3	8	0	11	62.2

3. 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	2	3	2	0	10
女性	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	3	3	2	0	11

1 実施状況

令和 5 年度事業計画に基づき、支援を必要とする高齢者が安心して暮らすことができるよう、制度の枠にとらわれず、ニーズに応じた多面的な相談業務を実施した。

週 1 回のミーティングにより情報共有。さらには 24 時間の電話対応により休日や夜間の電話相談にも対応した。

① 居宅介護支援・介護予防支援

一人ひとりのニーズに則した居宅介護サービス計画書を作成するとともに、サービス事業所や病院との連絡調整、担当者会議等を実施した。

② 要介護認定に係る訪問調査

中泊町や五所川原市、他市町村から要介護認定調査を受託して実施した。

③ 研修参加

介護支援専門員としての資質向上を目指し、事業所内外の研修や勉強会に参加した。事業所内では勉強会のほかにケアマネそれぞれの担当ケースを使って事例検討会を実施した。今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、昨年に引き続き、オンライン研修を中心に参加した。

④ 介護支援専門員実務研修受け入れ協力事業所への登録

介護支援専門員実務研修における「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」の受け入れ協力事業所として登録しているが、本年度実習生の受け入れはなかった。

⑤ 感染予防対策

法人から出される感染症対策確認事項に沿ってサービス提供を実施した。勤務前の検温や手洗い、うがいの徹底はもちろんのこと、訪問前後の手指消毒等も実施した。

⑥ その他

住宅改修に係る意見書の作成。

ホームページ等で情報発信することで、来所される家族・電話での相談、令和 5 年度も病院から直接事業所への相談もあった。その他、関係機関との連絡調整はもちろんのこと、緊急時の付き添いや援助などもニーズに合わせて支援した。

2 事業実績

① 要介護度別利用者構成

	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	1	0	0	10	12	2	4	0	29
女性	7	0	6	21	13	3	1	2	53
合計	8	0	6	31	25	5	5	2	82

② 新規相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	2	3	2	2	1	2	4	5	3	3	5	37

③ 介護認定調査委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	8	8	5	7	4	13	8	9	8	8	9	95

1 実施状況

- ① 住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、入浴・食事・排泄、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供した。
- ② 機能訓練指導員による上田法を中心とした個別プログラムに沿った機能訓練を実施している。また、訓練室に滑車運動、ペダル漕ぎ運動、ハドマー（波形型エアマッサージ器）・訓練用階段を設置することにより、利用者が自主運動を積極的に取り組み、機能維持できるよう配慮している。
- ③ 食事を美味しく、楽しく、安全に食べていただくことができるように、昼食前の口腔体操を継続して実施している。また、給食部門とも連携して選択食や行事食、イベント等を実施することで利用者に喜んでもらうことができた。
- ④ コロナ禍における感染対策徹底のもと、希望利用者を対象に花見や買い物外出を実施して好評を得た。今後も高齢化、独居世代の増加により、買い物外出のニーズが多いため継続していく。
- ⑤ 感染防止対策の実施として、送迎時の検温、マスクや擦式手指消毒剤を活用し、外部からの感染防止を図った。事業所内では換気や空気清浄機を設置し、でき得る対策を最大限実施し運営を継続した。

2 利用状況

① 介護保険被保険者

(延べ人数)

	介護保険被保険者								平均 要介護度	計	稼働日数
	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	77	34	95	224	104	39	52	17	1.6	642	25
5月	78	45	93	227	134	31	46	19	1.5	673	27
6月	81	44	106	236	112	32	38	18	1.4	668	26
7月	82	33	100	239	118	43	23	20	1.5	658	26
8月	78	34	76	238	108	29	24	15	1.8	602	24
9月	83	36	88	248	107	33	19	16	1.7	630	26
10月	84	31	79	247	115	31	11	13	1.7	611	26
11月	82	39	82	239	113	52	10	13	1.6	629	26
12月	66	34	87	191	93	43	8	8	1.6	530	24
1月	69	32	93	194	100	46	7	0	1.5	541	24
2月	77	35	104	241	112	27	8	0	1.6	604	25
3月	75	36	109	222	137	31	8	0	1.6	618	26
合計	932	433	1,112	2,746	1,353	437	254	139		7,406	305

② 障害者総合支援法による利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	8	14	14	14	13	11	12	11	11	11	10	13	142
機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	14	14	14	13	11	12	11	11	11	10	13	142

③ 介護度・区分別登録者数

年齢	～64		65～69		70～74		75～79		80～84		85～89		90～94		95～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10	2	8	0	0	2	20
要支援1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1	1	3	0	1	0	0	5	5
要支援2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	3	1	4	0	2	4	12
要介護1	0	0	0	0	2	0	2	5	0	2	4	6	5	4	0	0	13	17
要介護2	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0	0	4	0	2	0	1	5	8
要介護3	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
障がい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	1	0	3	1	5	0	5	6	7	8	5	26	8	20	0	3		98

1 実施状況

- ① 季節ごとに感染症予防や健康・生活に関する注意喚起を行い、利用者の健康な生活維持に努めた。その他、生活に関わることは関係機関と連携・協力し、利用者一人ひとりの生活を豊かにすることができた。特に感染予防について徹底し、訪問前後に手指消毒、訪問毎にマスクを交換する等の対応をしながら訪問を実施した。コロナ感染症予防対策で訪問が中止になったこともあったが、感染者を出すことなくサービス提供を実施できた。
- ② 福祉ホーム入居者は高齢化・重度化が進み、身体機能の低下や認知機能の低下がみられてきた。低下している原因を分析、ミーティングで話し合い、関係機関へ情報発信。利用者本人が自立した生活ができるようサービス事業所や関係機関と連携して支援を実施した。
- ③ 在宅サービス利用者は個別性を重視。その人らしく生活ができるよう、関係機関へ情報を発信したり、相談・報告しながら支援を実施。また、職員一人ひとりがスキルアップするため、研修を計画した。オンラインでの研修の参加や職員自らが講師となった職場内研修を実施して啓発に努めた。
- ④ 職員が安全・安心して訪問が行えるよう、定期的にミーティングを開催し、業務内容を見直した。特に、うちがた工房とは密に連携を取り合い、月1回ミーティングを開催。業務内容の見直しや提案・改善をした。
- ⑤ 中泊町推進会議や医療介護推進事業への研修会へ参加。看取り介護を実施するまでのみちのりや看取り介護の実際の様子を報告会で聞き、利用者本人や家族へ寄り添う視点を学べた。
- ⑥ 法人から出される新型コロナウイルス感染症対策に沿って業務を実施。また、利用者へ新型コロナウイルス感染予防対策の文書や県外からの来客があった場合の連絡等、周知を徹底した。手洗いやうがいの徹底はもちろん、訪問時はマスクを着用して終了時には消毒を実施。その他、不安な場合にはきりん館医務へ随時確認しながら業務を実施した。

2 利用状況

① 指定訪問介護事業（介護保険）

(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	15	17	12	13	32	15	18	16	9	10	7	10	174

② 訪問型独自サービス（介護保険）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	40

③ 指定居宅介護事業（障害者総合支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	667	673	635	690	635	730	677	648	691	692	641	688	8,047

④ 介護度・区分別登録者数

	障がい	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	11	0	1	0	0	2	0	0	0	14
女性	1	0	0	3	1	0	0	0	0	5
合計	12	0	1	3	1	2	0	0	0	19

1 実施状況

- ① 感染予防対策をしっかりと行った上で、希望にそった食事・買い物外出やイベントを行った。一人ひとりの希望にそった行事を行うことで、ストレス解消や心身のリフレッシュにつながる有意義な時間を提供することができた。
- ② 敷地内で野菜作りや花栽培を行い、草取りから収穫までを活動として進め、心身機能の活性化につなげることができた。また、継続してひまわり栽培・収穫を利用者と共に行った。
- ③ 創作活動として、思い出フォトやちぎり絵、ひまわり種を使用した貼り絵を作成し、展示した。また、薄市小学校卒業生へなたね・ひまわり油セットとキーホルダーを作成しプレゼントした。
- ④ 前年度より、1日平均利用者数0.6人(延べ276人)利用件数を増やすことができた。
- ⑤ エコキャップ活動は、地域のボランティア活動に結びついてきている。地元の学校や地域の人からの協力を得て、ペットボトルキャップ約420kg、約180,600個を収集することができた。ペットボトルキャップ1kgをゴミとして焼却しなければ、CO2を約3kg削減できる。(前年度約189,587個)

2 利用状況

① 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活介護	280	285	268	286	263	271	280	250	273	269	248	259	3,232	269.3
自立訓練	12	14	12	12	13	12	14	9	9	13	12	13	145	12
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	22	21	23	269	22.4
1日平均	13.2	13	12.7	13	12	12.9	12.8	11.8	12.3	12.8	12.4	11.3	12.5	

② 障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	7	7	3	2	0	19
女性	0	0	1	1	1	0	0	3
合計	0	0	8	8	4	2	0	22

③ 利用者別状況

	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳	合計
男性	0	0	1	1	9	4	4	19
女性	0	0	0	0	1	1	1	3
合計	0	0	1	1	10	2	0	22

令和6年3月現在

中泊町地域包括支援センター

中泊町地域包括支援センターは、高齢者などが住みなれた地域で安心してその人らしい生活ができるよう「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進し支援を行った。中里地域の拠点は令和6年2月に総合福祉健康センター湯らばーくに移転した。また飛び地である小泊地域住民が相談しやすいように、小泊地域は中泊町地域包括支援センターこどもり支所を拠点としている。

当法人は中泊町から委託を受け、主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師・看護師・介護支援専門員・介護福祉士(資格の重複あり)等7名のスタッフを派遣し、総合的な相談体制を整えている。

1 実施状況

① 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

65歳以上の全ての高齢者に、年齢や心身の状況などに関わらず、要介護状態となっても生きがいや役割をもって生活ができる地域づくりを目指し必要な支援を行った。

・一般介護予防事業

住民運営の通いの場「いきいき百歳体操」の立上げ支援・継続支援

体操などを行う住民主体の通いの場の立上げ支援を2ヶ所行い、現在活動している12ヶ所の継続支援を行った。

② 包括的支援事業（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務）

65歳以上のすべての高齢者を対象として、保健・医療・介護・福祉・生活の総合的な相談に応じ適切な機関や制度の利用に繋げる支援を実施し、65歳以下に関しても随時対応している。

高齢者虐待の事例について、対応件数6件(内訳：虐待事実あり1件、虐待事実なし5件)あり、町と速やかに連携し終結まで対応・支援を行い、成年後見制度等相談件数2件(内訳：権利擁護センターへ繋ぐ1件、申立相談1件)対応した。支援が困難なケースは他機関(行政・権利擁護センター等)と協力して解決まで支援した。

地域のネットワーク構築として、中泊町介護支援専門員連絡会、中泊町介護事業所連絡会の事務局としてサポートした。

③ 地域ケア会議の推進

地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、個別事例の分析を通じてその解決とともに地域に共通した課題を明確にし、必要な支援策や基盤整備につなげた。飛び地である小泊地域の方が参加しやすいように、ハイフレックス型の体制(集合・オンライン)を整えて開催している。

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

介護予防が必要な人(要支援1・2・事業対象者)に対して、適切な介護予防計画を作成した。

⑤ 認知症施策の推進

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断や早期発見に向けた支援を行う認知症初期集中支援チームを設置しているが対応件数はなかった。しかし、認知症と思われるケースは61件対応し、総合相談として対応している。認知症地域支援推進員配置(3名)し、主に地域ケア会議や総合相談、講師などの活動をおこなっている。認知症サポーター養成講座を7回開催し99名のサポーターを養成した。

認知症にやさしいまちづくり講演会を9月に開催し79名の参加があった。

社会福祉法人内潟療護園が実施した、『ゆらカフェ』(認知症カフェ)の立上げと開催(令和6年2、3月)をサポートした。

⑥ 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供される体制の構築を目的としている。中泊町介護事業所連絡会から「看取り」という実践の困難さの意見を地域課題として捉え、研修会を2回企画段階から共同して開催した。結

果として地域介護事業所とかなぎ病院のネットワークの強化と地域住民の理解。また、グループホーム 1ヶ所が看取り介護を始めることに繋がった。

2 事業実績

① 相談

■ 相談件数 (延べ)		単位：件
来所	中里 (74) 小泊 (30)	104
電話	中里 (942) 小泊 (20)	962
訪問		489
その他		153
合 計		1,708

■ 相談者の区分 (延べ)		単位：件
本人		604
家族		498
知人		20
関係機関		456
その他		13
中泊町役場		96
親類		21
合 計		1,708

■ 相談内容 (延べ)		単位：件
介護・日常に関する相談		206
サービス利用に関する相談		471
介護保険に関する相談		546
医療に関する相談		176
所得・家庭生活に関する相談		64
権利擁護に関する相談		17
高齢者虐待に関する相談		9
障害サービスに関する相談		17
苦情相談		3
その他		133
合 計		2,086

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援

■ 中泊町介護支援専門員連絡会

第1回	行政連絡・令和5年度事業計画について
第2回	行政連絡 自然災害時の町との連携について～業務継続計画(BCP)作成のために～
第3回	事例検討会：「物忘れ症状が強い利用者と家族への支援方法について」
第4回	行政連絡・地域ケア会議報告・懇談会～振り返りと次年度に向けて～

■ 会議などへの参加

地域関係者主催の会議	21
地域密着型運営推進会議	12
民生・児童委員定例研修会	18
合 計	51

③ 地域ケア会議の充実

■ 中泊町地域ケア会議の位置づけ

会議の名称	会議の機能				
	個別課題 解決機能	ネットワーク 構築機能	地域課題 発見機能	地域づくり 資源開発機能	政策提言機能
1 地域ケア個別会議	○	○			
2 地域ケア推進会議		○	○	○	
3 地域ケア運営会議		○	○	○	○

■ 地域ケア個別会議（個別ケースの課題解決）※1回2事例検討した(50分×2ケース)

第1回	1. 「認知症が進行し自己判断が難しい状態となっても住み慣れた自宅で暮らし続けられるためには」 2. 「ADLや認知機能が低下しながらも、もう少し暮らしやすくなるためには」
第2回	1. 「住み慣れた家で暮らすために」 2. 「物忘れ症状が強い利用者と家族への支援方法について」
第3回	1. 「医師の助言も忘れ、無茶なりハビリを独断でしてしまっている」 2. 「他人の介入を拒否し続けるAさんを受診させ、適切なサービスにつなげたい」
第4回	1. 「同居家族で同じ泥棒の被害妄想をしている方の支援について」 2. 「認知症がある人の退院後の生活について」

■ 地域ケア推進会議（関係者で地域課題の共有・解決方法の検討、研修会の開催）

第1回	『若年性認知症』について 講師 若年性認知症総合支援センター 支援コーディネーター 松倉典子氏
第2回	『認知症になっても暮らし続けられる中泊町』 ～地図から見えてくる、暮らしていくために便利なこと・不便なこと～
第3回	『オーラフレイル予防と口腔健康管理について』 講師 一般社団法人青森歯科衛生士会弘前支部 相馬美智子氏・阿保ひとみ氏
第4回	『権利擁護センターについて』 講師 中泊町社会福祉協議会事務次長/中泊町権利擁護センター 下山功樹氏

■ 地域ケア運営会議（町の課題と町への提案を整理・決定する）

	審議事項	決定事項
第1回	「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」	①「認知症サポーター養成講座」をはじめとする「認知症」に関する取り組みについて、普及啓発をしている。 ②「認知症カフェ」を令和6年2月から、湯らば一くで開催、運営の安定を図っていく。
第2回	「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」	①認知症にかかわる問題：権利擁護センターの普及啓発 ②地域での見守り支援について：兼任集落支援員の認知症サポーター養成を促していく。 ③1人暮らしの見守り支援について、AIを活用する等検討する。 ④「普及啓発活動」「孤立・孤独」について地域ケア会議で検討していく。

④ 在宅医療・介護連携推進事業

第1回	1. 『看取り介護を実践するまでの道のり』 講師 弘前医療福祉大学保健学部看護学科 教授 工藤うみ氏 2. 事例発表 ファシリテーター 内潟療護園相談センター 主任介護支援専門員 成田郁子氏 事例発表者 住宅型有料老人ホーム花まる 中田大己氏 特別養護老人ホームきりん館 課長 對馬勝子氏 居宅介護支援事業所あしの園 主任介護支援専門員 高橋達氏	41名
第2回	■『看取りの事例報告会』 オブザーバー かなぎ病院地域連携室 主任看護師 三上妃都美氏 ファシリテーター 内潟療護園相談センター 主任介護支援専門員 成田郁子氏 事例報告者 内潟療護園デイサービスセンター 所長 小山内恒仁氏 グループホームやまなみ 管理者 三上貴子氏 居宅介護支援事業所中泊町社会福祉協議会 主任介護支援専門員 新岡みね子氏	28名

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（要支援者・事業対象者に対して予防支援を行った）

■ ケアプラン数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	42	23	46	45	57	50	44	48	45	41	47	51	539
ケアマネジメントA	97	98	96	97	87	88	88	80	87	90	97	111	1,116
ケアマネジメントB	6	6	6	6	5	5	6	6	6	5	5	5	67
委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	145	127	148	148	149	143	138	134	138	136	149	167	1,722

※ ケアマネジメントA：指定介護予防支援と同様のケアマネジメント

※ ケアマネジメントB：簡略化したプロセスでのケアマネジメント※あやめの会は令和6年3月で廃止となった

行事・外出・レクリエーション

① 特別養護老人ホーム きりん館

新型コロナウイルス感染症対策として、少人数での活動を主に行った

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	19日	カラオケ倶楽部	5名		1名
	26日	ビデオ鑑賞	10名		2名
5月	19日	薄市小学校運動会参加	3名		3名
	24日	カラオケ倶楽部	4名		1名
6月	8日	トマト苗植え	3名		1名
	12日	カラオケ倶楽部	4名		2名
7月	3日	七夕飾りつけ	5名		2名
	7日	七夕祭り	20名		5名
	13日	カラオケ倶楽部	5名		1名
	14日	トマト収穫	5名		2名
9月	9日	薄市まつり見学	1名		1名
	10日	カラオケ倶楽部	3名		1名
	18日	敬老会	35名		10名
10月	18日	地域福祉センター・きりん館合同 BBQ	32名		10名
	18日	薄市婦人部歌謡ショー(慰問8名)	30名		10名
	28日	薄市小学校学習発表会見学	1名		1名
	28・29日	なかどまり町民文化祭	3名		3名
11月	8日	カラオケ倶楽部	5名		1名
	15日	おやつづくり	15名		3名
12月	5日	アルパジョンサンタ号見学	3名		3名
	6日	クリスマス飾り付け	8名		3名
	25日	クリスマス会	35名		17名
2月	3日	節分・豆まき	33名		9名
	21日	お達者倶楽部(花札)	8名		2名
3月	3日	ひな祭り	30名		8名
	13日	お達者倶楽部(花札)	8名		2名

② 地域福祉センター デイサービス

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	18日	花見外出	5名	3名
	19日	花見外出	11名	2名
	20日	花見外出	13名	3名
	21日	花見外出	11名	3名
6月	13日	ラベンダー・買い物外出	3名	2名
	14日	ラベンダー・買い物外出	14名	3名
	15日	ラベンダー・買い物外出	10名	3名
	16日	ラベンダー・買い物外出	8名	3名
8月	1日	買い物外出 金木スーパーストア	4名	2名
	2日	買い物外出 金木スーパーストア	7名	2名
	3日	買い物外出 金木スーパーストア	8名	2名
	4日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	3名
10月 ～ 11月	1日	焼き芋会	25名	7名
	2日	焼き芋会	30名	8名
	3日	焼き芋会	23名	6名
	18日	地域福祉センター合同バーベキュー	28名	8名
	31日	焼き芋会	19名	7名
12月	11日	買い物外出 金木スーパーストア	5名	3名
	12日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	2名
	13日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	2名
	14日	買い物外出 金木スーパーストア	4名	2名
1月	9日	新年会	16名	8名
	10日	新年会	25名	8名
	11日	新年会	25名	8名
	12日	新年会	26名	8名

	27日	繭玉づくり		23名	8名
3月	1日	買い物外出 金木スーパーストア		7名	2名
	14日	買い物外出 金木スーパーストア		6名	2名
	15日	買い物外出 金木スーパーストア		4名	2名
	16日	買い物外出 金木スーパーストア		6名	3名

③ 地域福祉センター うちがた工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員	園内外
4月	15日	プ子花見会	10名		5名	園内、外
	23日	食事、買い物外出	12名		5名	園外
5月		トランプ・花札大会、小物作り	15名		5名	園内
7月	8日	食事外出（小泊 かもめ寿司）	10名		5名	園外
	15日	バーベキュー	13名		6名	園内
8月	1~10日	個別買い物外出	11名		4名	園外
9月	30日	餃子パーティー	13名		5名	園内
10月	14日	ひまわり収穫祭	13名		5名	園外
12月	2,9日	買い物外出	13名		5名	園外
		忘年会、にぎり寿司	20名		5名	園内
1月	13日	新年会 バラ焼き ビンゴ	14名		6名	園内
	27日	デイサービス・工房合同繭玉作り	10名		5名	園内
3月	12日	薄市小学校卒業生と交流	2名		1名	園外
	16,23日	買い物外出	12名		5名	園外